

平成31年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	J R 飯田線活性化期成同盟会イベント列車事業
事業主体 (連絡先)	J R 飯田線活性化期成同盟会 (伊那市役所企画部企画政策課 0265-78-4111 (内線 2143))
事業区分	⑧その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	768,381円 (うち支援金: 601,000円)

事業内容

伊那松島駅、伊那北駅、伊那市駅、駒ヶ根駅でそれぞれ乗車する参加者を募り、JR 飯田線で飯田市美術博物館へ向かった。移動の車中では飯田線や自然に関するクイズを実施し、移動先の美術博物館では南アルプスの生物を題材とした缶バッチ作りや化石のレプリカ作り、伊那谷の自然に関する講座を行った。一連の活動を通して、伊那谷地域への理解を深めるとともに、飯田線の利用促進を図った。



【当日の様子】

【目標・ねらい】

- ①飯田線のPR
- ②飯田線の利用促進
- ③交流の拡大

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・新聞、フリーペーパーなどを通じた参加者募集により、公共交通の利用啓発効果を得られた。
- ・普段飯田線を利用しない小学生に対して利用機会の創出がなされた。
- ・上伊那地域在住の参加者が下伊那地域での体験をすることで、伊那谷地域全体への広域的な関心を喚起し、交流の促進がなされた。

※自己評価【B】

【理由】

イベントを通じて飯田線のPRを行う事が出来た。今後も普段飯田線を利用しない層への利用啓発を継続していきたい。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

継続的にイベント列車の運行することにより、飯田線のPR及び利用促進に努めるとともに、新たな企画を検討する中で飯田線の新たな利用者の開拓を図る。

また、伊那谷地域を南北に往来する飯田線の特性を活かし、上伊那と下伊那、両地域の交流の拡大が一層促進されるように努めていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある